

平成26年度事業報告

1 会議の開催

(1) 総会

ア 定時総会

平成26年6月20日（金） 出席388社（委任状によるもの224社）
名古屋国際ホテル「老松の間」

イ 臨時総会

平成27年3月24日（火） 出席375社（委任状によるもの230社）
東京第一ホテル錦「ブリランテの間」

(2) 理事会

平成26年6月20日、9月18日、12月11日、平成27年3月24日

(3) 支部会議

16回

(4) 労災保険収支改善対策推進協議会

2回

(5) 専門委員会等

7回（内、労務単価研究会1回、法人化30周年記念式典準備委員会1回）

2 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

(1) 委員会、部会及び支部活動の強化

ア 総務、労務、業務及び教育センター運営委員会を開催し、所掌事項の研究と協会事業の円滑な推進に努めた。

イ 酒井副会長以下13名で構成する「法人化30周年記念式典準備委員会」を設置し、平成27年2月18日（水）当協会研修室において、同記念式典行事について協議した。

ウ 青年部会は、若手経営者の相互研さん・交流を通じ、企業活動の発展と業務の適正化を目指した研修会3回及び年末防犯パトロール（中警察署年末特別警戒に参加）を実施した。

エ 各支部は、次のとおり研修会等を開催した。

（ア）平成26年4月22日（火）中支部、北東支部、4月28日（月）西支部、南支部、ビルメン支部、4月30日（水）三河支部では、愛知県警察本部警備業担当官を講師に招き、警備業における当面の諸問題について、研修会を開催した。

（イ）平成26年9月5日（金）南支部では、管内の会員会社を支部長以下10社16名が見学し、同社の担当者から監視カメラの活用方法、機械警備システムなどの説明を受けるとともに各社の勤務体制や人材採用について、活発な意見交換を実施した。

（ウ）平成26年12月2日（火）北東支部では、2人の講師を招き、警備業と社

会保険（鈴木講師）、反社会勢力への対応（森井講師）について、研修会を開催した。

(エ) 平成26年12月2日（火）中支部では、中警察署生活安全課長を講師に招き、管内の犯罪情勢及び警備業の諸情勢について、研修会を開催した。

(2) 労務単価・社会保険問題への取り組み強化

ア 平成26年8月7日（木）当協会研修室において、2号業者（97社、102名出席）を対象として、全国警備業協会から齋藤次長を招き「労務単価、社会保険未加入問題研修会」を開催した。

また、8月8日に開催された中部ブロック社会保険問題研修会に参加した。

イ 労務単価、社会保険問題研究部会を5月8日、同委員会を9月18日に開催し、「適正な警備料金の確保に向けた警備契約の発注業者への要請文」と「法定福利費を明示するための標準見積書」の作成について検討を行った。

ウ 要請文と標準見積書については、公正取引委員会の確認を得て、9月19日、会員に対してその活用を図った。

エ 当協会長が「警備業界が抱える深刻な問題に対するご理解のお願いについて」の要請文を、愛知県建設業協会の徳倉会長（11月25日）、日本建設業連合会中部支部の片山支部長（12月1日）に面談し手交した。

(3) 経営者及び安全衛生管理者研修会の開催

警備業務の適正化及び企業モラルの高揚、労災事故の防止を図るために、全国警備業協会の小澤課長、愛知県警察本部警備業担当者等を招き、経営者及び管理者の研修会を開催した。

ア 経営者研修会

開催日 平成26年10月16日（木）

場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」

参加者 120社、120名

内 容 ・「不当要求防止責任者講習会」

(公財) 暴力追放愛知県民会議 講習部長 三浦利幸 氏

警察本部組織犯罪対策課暴排係 警部補 倉本忠彦 氏

イ 安全衛生管理者研修会

開催日 平成27年2月16日（月）

場 所 東京第一ホテル錦「ブリランテの間」

参加者 120社、132名

内 容 ・「事例で考えるリスクアセスメント」

(一社) 全国警備業協会 総務課長 小澤祥一朗 氏

・「警備業における受傷事故防止」

警察本部生活安全総務課警備業係 課長補佐 奥村 悟 氏

(4) 労災事故防止活動の充実

ア 「愛警協だより」による会員への重大労災事故事例紹介等のほか、交通誘導警備員の事故防止と誘導技術の向上を図るため、関係警察署の支援を受け、労務委員会及び各支部長が中心となり合計10回の安全パトロールを実施し現場指導を行

った。また、指導結果については、「愛警協だより」で注意喚起を呼びかけた。

- ・平成26年 9月18日(木) 南支部 熱田警察署管内
- ・平成26年10月21日(火) 北東支部 守山警察署管内
- ・平成26年10月23日(木) 西支部 蟹江警察署管内
- ・平成26年10月29日(水) 中支部 中警察署管内
- ・平成26年11月21日(金) 北東支部 瀬戸警察署管内
- ・平成26年11月21日(金) 南支部 昭和警察署管内
- ・平成26年12月11日(木) 西支部 中川警察署管内
- ・平成27年 2月17日(火) 西支部 津島警察署管内
- ・平成27年 2月19日(木) 南支部 半田警察署管内
- ・平成27年 2月23日(月) 三河支部 刈谷警察署管内

イ 全国警備業協会主唱の労働災害防止「論文・ポスター・標語」の公募等に参加するとともに、愛知労働局及び関係協会と連絡協調を図り、労働安全衛生対策を積極的に推進した。

3 法令等の規定に基づく研修等の委託事業

(1) 警備員指導教育責任者等の講習

愛知県警察本部からの受託講習を延25回(受講者計924名)開催した。

ア 警備員指導教育責任者新規取得講習

実施回数 9回 受講者(受験者) 286(285)名 合格者 232名
合格率 81.4%

イ 警備員指導教育責任者追加講習

実施回数 4回 受講者(受験者) 58(58)名 合格者 57名
合格率 98.3%

ウ 警備員指導教育責任者現任講習

実施回数 11回 受講者 561名

エ 機械警備業務管理者講習

実施回数 1回 受講者(受験者) 19(19)名 合格者 17名
合格率 89.5%

(2) 特別講習の充実強化

(一社)警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習は、計18回開催し、受講者1,379名、合格者828名、合格率60.0%であった。

ア 施設警備業務1級特別講習

1回 受講者 72名 合格者 45名 合格率 62.5%

イ 雑踏警備業務1級特別講習

1回 受講者 68名 合格者 46名 合格率 67.6%

ウ 施設警備業務2級特別講習

6回 受講者 489名 合格者 294名 合格率 60.1%

エ 交通誘導警備業務2級特別講習

6回 受講者 483名 合格者 275名 合格率 56.9%

オ 雑踏警備業務2級特別講習

3回 受講者 191名 合格者 127名 合格率 66.5%
カ 貴重品運搬警備業務2級特別講習

1回 受講者 76名 合格者 41名 合格率 53.9%

4 警備員及び警備員指導教育責任者等警備業務に従事する者に対する教育訓練並びに研修

(1) 集合法定教育の充実強化

ア 法定警備員教育の強化

平成26年4月1日から平成27年3月31日までに実施した法定警備員教育は、次のとおりであった。

区分	会員	非会員	計	対前年比
新任警備員教育	5,633名	250名	5,883名	-138名
現任警備員教育 (内出張教育)	5,841名 (841名)	140名 (0名)	5,981名 (841名)	26名 (114名)
計	11,474名	390名	11,864名	-112名

※ 新任警備員教育は延べ人員である。

イ 職業訓練校としての新任警備員教育

平成3年4月に職業訓練校として認定を受けて以来訓練を実施しているが、平成26年度中に認定訓練校生として警備員教育を行った人員は、次のとおりであった。

新任警備員教育受講者 1,853名
(内訳) 施設警備業務 988名
雑踏警備業務 865名
(3日間修了者を1名として計上)

(2) 警備員指導教育責任者研修会

開催日 平成26年9月30日(火)
場 所 ナディアパークデザインセンタービル3階 デザインホール
参加者 指導教育責任者等 530名
内 容 ・「労災事故の実態とその撲滅を目指して」
「警備業界を取巻く環境と当面の課題」
(一社)全国警備業協会 総務部次長 齋藤文夫 氏
・「立入検査結果からみた警備業務の問題点と対策」
愛知県警察本部生活安全総務課警備業係 警部 奥村 悟氏

(3) 機械警備業務管理者研修会

開催日 平成26年11月27日(木)
場 所 愛知県警備業協会 4階 会議室
参加者 49名
内 容 ・「基地局からの指令要領」
セコム(株)中部本部コントロールセンター
センター副長 山田 桂 氏
・「迅速的確な指令業務について」「誤報の防止」

愛知県警察本部地域部通信指令課 警部補 東條 伸 氏
・「適正な機械警備業務の実施」

愛知県警察本部生活安全総務課警備係 警部補 鈴木 尚 氏

(4) 講師陣の強化充実

ア 講師体制の確立

当協会講師体制（平成26年4月1日現在）

- ・警備員指導教育責任者講習講師 50名
- ・機械警備業務管理者講習講師 9名
- ・特別講習講師 55名

イ 講師合同研修会の開催

各講習講師の知識、技能の向上と連絡協調を次のとおり図った。

(ア) 平成26年4月19日(土)、20日(日)の両日、当協会及びあいち自動車学校において、全国警備業協会から前島センター長以下8名の技術研究専門部員(技研講師)を招き、中部地区内特別講習講師富山県7名、石川県10名、福井県14名、岐阜県6名、三重県6名、愛知県27名の計70名が参加して中部地区講師合同研修会を開催した。なお、講習初日には、全国警備業協会の元会長 木村昌平氏の特別講演「国民から信頼され安心される確かな警備業であり続けるために」を開催した。

(イ) 平成26年12月5日(金)当協会警備員指導教育責任者講習講師、特別講習講師、教育センター講師及び警察本部生活安全総務課警備担当等78名が参加して合同研修会を開催した。

(5) 警備業に関する各種講習会への講師派遣

愛知県警察本部及び(一社)警備員特別講習事業センターから委託を受けて実施した。

ア 警備員指導教育責任者等講習

新規取得、現任、追加及び機械管理者等 計25回
派遣講師 延188名

イ 特別講習

18回 派遣講師418名

ウ 公安委員会直接検定

2回 派遣講師 4名

5 警備業に関する功労者等に対する表彰

(1) 警察本部長・協会長連名表彰(平成26年6月20日表彰)

ア 功労団体

2団体(大宣警備保障株式会社、株式会社フジプロパティ)

イ 功労者

3名(村上伸二氏、千田泰昌氏、石黒敬康氏)

ウ 教育関係等功労者

3名(宮本 理氏、草野 忍氏、内海 哲氏)

(2) 警備員に対する表彰

ア 優良警備員（平成26年6月20日表彰）

112名

イ 特別功労警備員

犯人逮捕等に協力して、警備業務の信頼を高めた10名の警備員をその都度表彰した。

6 ホームページの運用、機関誌の発行その他広報啓発活動

(1) 機関誌等の発行

広報委員会において、協会及び業界の広報、会員の相互啓発を目的として、「セキュリティ・アイチ」を2回発行（42号（平成26年8月）、43号（平成27年1月）した。

また、会員に対する連絡事項をその都度「愛警協だより」（計15回発行）で伝達した。

(2) ホームページの運用による広報

平成26年4月1日、ホームページの全面リニューアルに伴い会員専用のログページを設け、部内広報の充実化及び連絡通知、情報交換に活用するなど会員の利便性とサービス向上を図るとともに新任・現任教育、特別講習、指導教育責任者講習の開催案内等のタイムリーな広報活動を実施した。

7 各種出版物等の購入斡旋

協会発行の「法令集」等65種1761冊、「実務警備員教育」等ビデオ・DVD等115巻、その他事故防止用具等の斡旋をした。

8 関係行政機関等の行う地域安全、防災及び事故防止活動等に対する協力並びに支援活動

(1) 青色防犯パトロール活動

平成22年度より県下の犯罪予防と地域住民の防犯意識の向上を図るため、活動地域内の管轄警察署との連携の下に犯罪多発地域をパトロール重点として、毎週土曜日に青色防犯パトロール事業を実施しているが、本年度も実施回数51回、車両運用延台数255台、車両走行距離27,320キロ、1日平均走行距離（5台分）は約540キロ以上の活動を展開し、実施地域の安心安全な街づくりに貢献した。

また、今年度も「警備業者のコンビニエンスストアへの立寄りに関する覚書」協定に基づくコンビニ店舗への立寄り活動を積極的に実施し、その回数は全実施地域内で817回であり、コンビニ強盗の発生抑止に貢献した。

(2) 諸行事への参加協力

（社）愛知県防犯協会連合会及び（公財）暴力追放愛知県民会議の賛助会員として、地域安全県民大会、暴力追放セミナーに出席した。

また、愛知県安全なまちづくり推進協議会、愛知県万引防止対策協議会及び名古屋市中警察署の行う年末警戒活動に中支部会員警備員10名及び青年部会員16名とともに参加した。

(3) 暴力排除活動

平成27年3月24日（火）、東京第一ホテル錦において、警備業務の実施に際し

暴力団との係わりを遮断するため、「愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」総会を開催し、145社145名が参加して平成26年度の事業報告と平成27年度事業計画案を原案どおり可決承認された後、会員一同が暴排意識の向上と社会的信頼を高める為に暴排宣言を採択した。

第2部では、「暴力追放セミナー」を開催し、県警担当官による講演「最近の暴力団情勢と排除対策」を聴講し、暴力団排除活動の推進を図った。

9 地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力及び支援活動

(1) 「平成26年度愛知県・碧南市津波・地震防災訓練」に参加

平成26年8月31日(日)愛知県碧南市地内「玉津浦グランド」において南海トラフ巨大地震を想定した「平成26年度愛知県・碧南市津波・地震防災訓練」に酒井三河支部長以下21名の三河支部会員の災害支援協力隊員が参加し、部隊編成、集合訓練、警察官と連携した被災住民の避難誘導訓練を実施した。

(2) 愛知県警察本部交通部主催による「災害時における交通規制訓練」に参加

平成26年9月1日(月)、南海トラフ巨大地震の想定により、警察官が行う緊急交通路指定路線での交通規制訓練に対し、当協会各支部の災害支援協力隊員10社32名が参加し後方支援活動訓練を実施した。

(3) 「平成26年度愛知県・名古屋市総合防災訓練」に参加

平成26年10月27日(月)、名古屋市中村区内の名古屋駅周辺等において、南海トラフ巨大地震を想定した「平成26年度愛知県・名古屋市総合防災訓練」に松本会長以下20社70名の5支部(三河支部を除く)の災害支援協力隊員が参加し、県警等の災害活動に対する後方支援活動訓練を実施した。

(4) 「平成26年度内閣府・西尾市地震・津波防災訓練」に参加

平成26年11月5日(水)、愛知県西尾市一色町地内「坂田球場」等において、南海トラフ巨大地震を想定した「平成26年度内閣府・西尾市地震・津波防災訓練」に酒井三河支部長以下21名の三河支部会員の災害支援協力隊員が参加し、部隊編成、集合訓練、警察官と連携した被災住民の避難誘導訓練等を実施した。

(5) 警備員出動要請伝達及び招集訓練等の実施

平成27年1月16日(金)、首都直下型巨大地震発災に伴う当協会災害支援協力隊の被災地派遣を想定し、(一社)全国警備業協会から出動要請の訓練協力を得て、高性能無線機及びFAXを使用した出動要請伝達及び56社56名による災害支援協力隊員の招集訓練を実施した。招集訓練では、松本会長による部隊視閲、宮城県警備業協会の元専務理事による東日本大震災体験談など聴講した。

10 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

(1) 一般社団法人移行後における公益目的支出実施事業の推進

平成24年4月1日付けで移行登記し「社団法人愛知県警備業協会」から「一般社団法人愛知県警備業協会」に移行後、平成26年度も公益目的支出計画の実施事業として、青色防犯パトロール事業・災害支援協力活動事業・教育事業(新任現任教育・特別講習)の3継続事業を推進した。

(2) 個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体として認定された全国警備業協会と連携し、個人情報の適

正な取扱いを図った。

(3) 協会への加入促進と認定証更新案内の実施

協会主催の各種研修会開催時、認定申請手続き相談時及び警備員法定教育委託相談等の機会に、協会へ加入するよう勧誘に努めた。平成26年度中の会員入退会は、正会員の入会12社、正会員の退会18社であった。

(4) 愛知県証紙及び諸用紙並びに警備業務用装備資器材等の販売あっせん

認定申請、その他各種申請・届出に必要な諸用紙を斡旋したほか、警備員指導教育責任者講習等の受講に必要な愛知県証紙を販売した。

(5) 中部地区各県警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会の会議を次のとおり開催したほか、中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、各県協会及び全国警備業協会との連絡調整に努めた。

- ・春の会長等会議 平成26年 4月19日(土) 愛知県
- ・秋の会長等会議 平成26年11月 6日(木) 福井県
- ・中部地区事務局担当者会議 平成27年 2月26日(木) 三重県

(6) 事務処理の向上

業務の増大に対応し会員サービスの向上を図るため、パソコン等OA機器を活用し、事務局の事務処理能力の向上に努めた。

(7) 慶弔・傷病に対する表意

会員等の葬儀告別式に生花、香典、弔電を供えた。

(8) 各種親睦行事の実施

会員相互の親睦を深めるため、新年交礼会及び会員懇親会等を開催した。